

2022年2月28日

報道機関 各位

AIの限界と可能性 ～AIによる編網装置の品質向上の取り組みを題材に～

長崎大学情報データ科学部では、企業との連携を強化し、教育研究の更なる発展を目的として、2020年11月より「情報データ科学部コロキウム」を月1回開催しております。

第13回コロキウムでは、情報データ科学部の小林透教授が「AIの限界と可能性」について講演する予定です。

道路沿いの法面に崩落防止ネットとして、亀甲型ネットが多く利用されています。この網を編む際に、カメラで撮影した画像からAIが亀甲型の品質を自動認識し、作業者にアラームするシステムを開発している小林教授に、開発事例をもとに、具体的な問題解決をAIに行わせる場合の限界と、それを見極めた上でのAIの適用可能性についてお話頂きます。

つきましては、コロキウム開催の趣旨をご理解いただき、ぜひ取材していただき、貴紙・貴番組などでご紹介いただきたくよろしくお願いいたします。

取材は対面またはオンラインで可能ですが、取材いただける際は、事前に下記取材申込先までご連絡をお願いいたします。

◆開催日時：令和4年3月16日（水）17時～18時00分

◆開催方法：オンライン配信（Zoom）

◆タイムテーブル：

17:00～17:45	AIの限界と可能性 ～AIによる編網装置の品質向上の取り組みを題材に～ 情報データ科学部 教授 小林 透
17:45～	質疑応答
18:00	終了

【本リリースに関するお問い合わせ・取材申込先】

長崎大学総合生産科学域事務部 西地区事務課総務第一係（情報系）

TEL：095-800-4101 E-mail: jyohopt@ml.nagasaki-u.ac.jp

※講師への事前・事後の取材（インタビュー）を希望される場合は事前にお知らせください。

オンラインでの取材の場合、時間の都合上、講演内容に関すること以外はお受けできない場合がありますので、予めご了承ください。